

第3期やまのべ総合戦略(案)に寄せられた 意見の概要と意見に対する町の考え方について

令和7年2月に実施しました「第3期やまのべ総合戦略(案)」に対する意見募集に関して、提出された意見とその意見に対する町の考え方をお知らせします。

1. 意見の募集期間 令和7年2月17日(月)～2月28日(金)
2. 提出者数 1人
3. 意見総数 11件

番号	意見の概要	町の考え方
1	・「有識者による検討 (PDCA)」が公表されていないようですので、どのような評価が行われているかわかりません。	・山辺町地方創生・人口減少対策有識者会議(知識経験を有する方や、各種団体から推薦を受けた方等で構成する会議)を設置し、毎年度、地方創生交付金事業の評価及びやまのべ総合戦略の検証等を行っています。総合戦略の検証では KPI の達成状況を主として、様々な角度や立場からご意見を賜り、各事業に生かしています。公表を検討していきます。
2	・3 ページの合計特殊出生率、中山町や上山市は上昇しているのに山辺町は低下しています。その要因は検討されたでしょうか。	・山形県全体の傾向と同様に、出生数の減少の要因は、出産適齢女性人口の減少によるもの、また、合計特殊出生率の低下は、晩婚化・非婚化などの女性の有配偶率の低下によるものと分析しています。引き続き、「結婚及び妊娠から出産・子育てまで切れ目のない支援」を推進していきます(P44)。
3	・10 ページ「アンケート調査」若者の答えで住みやすいが 4 割だが、将来は町外に引っ越したい人が 4 割近くいる。町づくりにとって深刻な課題だと思ふ、アンケートは 5 年のスパンより短期にして継続的な意識調査が必要ではないだろうか。	・社会情勢が目まぐるしく変化する中、意識調査を行い住民の意識や希望を把握することは、重要なことと捉えています。意識調査の期間については、貴重なご意見として参考にさせていただきます。
4	・11 ページ「転出者のアンケート」買い物・通院に不便が前回 15%今回 25%と増加。また、再居住の意向で戻らないが前回 27%今回 36%と増加。住みやすかったと 6 割が答えている中でこの結果をどう評価し、改善案は？	・転出者については、山辺町に住み続けたかったが、仕事・結婚のために転出した人が多いため、住みやすかったとの回答が 6 割となる中、再居住については戻らないと答えた方が多かったと検証しています。一方で、転入者アンケートでは、山辺町を選んだ理由として、「家族・親族が山辺町に在住していること・出身地だから」が多く、引き続き、「子育て世代や地縁血縁者を中心とした移住支援」を推進していきます(P38)。
5	・11 ページ「転入者のアンケート」山辺町以外も検討・行政サービスも検討している方が多くなっている。他町村との施策の差別化・工夫が必要になっている。	・貴重なご意見として承ります。
6 (1)	・16 ページ「人口の将来展望」人口推計(14 ページ)では前期より人口減少が増加しているが、現状と課題と将来の方向は前回記述と同じ表現になっている。同じ表現でも具体的事業に変化があれば良いと思うが、具体的事業も同じでは歯止めがかからないのではないだろうか。	・第 3 期総合戦略の策定にあたり、人口及び産業の分析、住民意向の調査を行った結果、現状と課題については継続している状況であったため、将来の方向については変更せず、これまでの取り組みを切れ目なく継続・強化していくことにしています。

番号	意見の概要	町の考え方
6 (2)	・17 ページの人口の将来展望の目標そのものが前期目標 2060 年 10500 人、今期目標 2050 年で 10200 人と現状に目標出生率を掛けただけ、それで良いのだろうか。	・人口推計については、国の「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート」を活用し、出生に関する仮定値である将来の合計特殊出生率等(現在の 1.22 から、5 年後に 1.4、10 年後に 1.6 に引き上げる)と、移動に関する仮定値である将来の純移動率等(新規転入世帯の増加として、毎年 1 世帯(4 名)ずつの増加)とを独自に設定し、推計を行ったものになりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。
7	・19 ページ国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」への期待が述べられているが懸念されることは、デジタル格差・人材不足・財源不足がある。これへの手当はどうなっているのだろうか? 「毎年度 PDCA サイクルによる検証を行い」とあるが、内容の公開を行っていただきたい。	・町では、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金(旧デジタル田園都市国家構想交付金)を活用し、令和 6 年度からデジタル実装事業に取り組んでいます。令和 6 年度に実施した事業については、令和 7 年度に評価・検証を行い、町ホームページで公表する予定となっています。
8	・21 ページ「目標値の達成状況」の表に前期にはあった KPI 値の評価 ABC が無くなっている。分かりやすいように入れていただきたい。	・達成状況については、KPI の達成割合だけで一律に評価できるものではないと判断し、ABC の評価を行っていません。分野ごとに様々なご意見を踏まえながら検証を行い、21 ページ中段より検証結果を記載しています。
9	・23 ページ「本町の特徴」買い物の利便性・複数の診療科とあるが、転出者のアンケート結果では、買い物通院に不便が比較的多かったがこの表現で良いのか?	・アンケート調査の結果を全体的に見ると、本町は、近隣市町への交通アクセスが良いこと、町内に複数の診療科があることなどから、買い物通院の利便性は比較的良好なものにとらえています。なお、「誰もが使いやすい公共交通の維持確保」を具体的な取り組みに掲げ推進していきます(P49)。
10	・具体的な取り組みで削除されたものに、①34 ページ 観光資源の玉虫沼、棚田、蔵王連峰の景観 ②38 ページ 移住を体験する機会 ③41 ページ 現状と課題の記述の中に、山間部の記述 ④44 ページ Taiken 堂の子ども版 ⑤48 ページ 歩いて暮らせる町づくり ⑥50 ページ 雪を生かした観光資源の開発 等があり、どのような検証があったのだろうか?	・各分野の具体的な取り組みについては、これまでの実績や社会情勢、住民ニーズなどに対応するため、総合的に検討し設定していますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。
11	・美力発信課新設についての評価の記述もほしいところ。	・分野 4 については、「連携・安全安心・その他」を、第 3 期総合戦略で「連携・安全安心・賑わい」に変更しています。賑わいの創出により、より魅力的な地域を目指すものです。特に記載はありませんが、「美力発信課」では、町の魅力を多様な手段・媒体を活用し発信していきたいと考えています。

いただいたご意見については、今後の町の施策の参考とさせていただきます。ご意見ありがとうございました。

[問い合わせ]

山辺町政策推進課総合戦略係 〒990-0392 山辺町緑ヶ丘5番地 TEL 023-666-8911 FAX 023-667-1112
e-mail: seisaku@town.yamanobe.yamagata.jp